

# 令和6年度 第1回学校運営協議会議事録

## 1 日時

令和6年6月18日(火) 10:00～11:30

## 2 場所 さくら草特別支援学校会議室

## 3 出席者

山岡 康幸 大谷場東小学校非常勤講師(元本校教頭)  
山本 宏 社会福祉法人さくら草 理事長  
石関 健 学校法人大古里学園 理事長  
酒井 浩志 さいたま市立大古里公民館 館長  
工藤 祐子 療育センターさくら草すみれ 園長  
鈴木 美幸 三室おふさと住宅自治会 会長  
天野 尚子 緑区障害者生活支援センター 施設管理者  
三島 公夫 さいたま市立三室小学校 校長  
廣江 剛 さいたま市立三室中学校 校長  
大田 明子 本校 PTA会長  
入澤真理香 さくら草特別支援学校校長  
稲 吉 勝 さくら草特別支援学校教頭  
遅澤麻奈美 さくら草特別支援学校教頭  
山口 真 さくら草特別支援学校 教務主任  
釘 宮 巧 さくら草特別支援学校 事務主幹  
山元 誠一郎 さくら草特別支援学校 学校地域連携コーディネーター

16名

## 4 欠席者

中村 有里 さいたま市立病院 看護師長

1名

## 5 議事録

(司会:山元)

- 1 校長あいさつ
- 2 委嘱状・任命書交付
- 3 学校運営協議会委員 自己紹介
- 4 会長・副会長選出  
会長:山岡 康幸 様 副会長:山本 宏 様
- 5 開会宣言(山本副会長)
- 6 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認  
※拍手により承認
- 7 学校紹介
- 8 いじめ防止基本方針について
- 9 学校予算等について
- 10 熟議  
「学校・家庭・地域で連携してできる取組について」

- ・昨年度の取り組みについての説明
- ・昨年度の活動にさらにできることを増やしていきたい。  
もっと知ってもらえる取り組み、一緒にできる取り組み等について
- ・開校時「地域に愛される学校」近隣にあいさつ回り(逆風だった)  
お手紙配りの活動を通して地域とのつながりができてきた。(現在も継続して行われている)
- ・開かれた学校のイメージがある  
園児にとってもかわりが大切 文化祭等にもおじゃましたい
- ・充実した活動をしている、本校児童生徒に癒されている
- ・7月31日医ケアサポート事業所情報交換会を開催(南区あみーご主催)  
指示書について、緊急時対応等について話題する予定
- ・10月5日南区福祉事業所交流会を開催予定
- ・公民館文化祭にて作品展示→今年度は改修工事のためなし  
今後、出張公民館等を開催し、ふれあいの時間を設けていくのはどうか。実現可能なのか考えていきたい。
- ・療育センター職員も文化祭に参加させていただく  
先生方のICT活用が素晴らしい。センター職員にも活用方法を教えていただける場を設けたい。  
センターに作品展示できたらよいのでは(リハに来るときなどにみれる)
- ・10年前敬老会時に会場を借りたことがある。地域と児童生徒とで一緒におさんぽ、お茶会等のイベントを開催するのはどうか。
- ・自治会インスタグラムを作成している。お年寄りの方もみている。学校のことも発信していきたい
- ・学区が5区にまたがっている。各区ごとに知ってもらうことがある  
緑区 療育まだ知的、発達障害系が多く、肢体不自由、医療的ケアに対応がまだ少ない。医ケアコーディネーター連絡会が発足した。一緒に考えていく場が必要。相談しやすい仕組み作りをしていきたい。
- ・小学校と特別支援学校は例年交流している。今後も継続していきたい。また、子どもたちだけでなく、教職員とのつながりも大切なのでぜひ交流の場をつくっていきたい。
- ・中学校吹奏楽部の交流が先日終了した。今後、演劇やダンスなども活用できそうだ。
- ・来月は校内研修を本校特別支援教育 Co. をお願いしている。職員同士の交流もぜひおこなっていききたい。
- ・保護者として、このような会を初めて知った。地域の皆様がいろいろと考えてくれていることにお礼を申し上げたい。
- ・文化祭について  
PTAとして、これまでは子ども中心に考えがちだったが地域と協力してできることも考えていきたい。
- ・災害時の対応について  
避難所運営訓練を昨年度より大規模開催。実際に子どもがいるときに災害が起こったらという点では課題がある。
- ・課題もあるが今後、連携をより深めていく必要がある。子どもたちの幸せにつながる学校経営を。

## 11 閉会宣言(山岡会長)

## 12 諸連絡

- ・今後の学校運営協議会の日程  
第2回:令和6年11月6日(水) 第3回:令和7年2月12日(水)
- ・学校公開:令和6年7月13日(土) 10:20~11:10